

草津白根山の火山活動の状況等について

※これは速報値であり、数値等は今後も変わることがある。

※下線部は、前回からの変更箇所。

平成 30 年 1 月 29 日

18 時 00 分 現在

内 閣 府

1. 火山活動等の概要（気象庁情報：1月29日17:00現在）

- 1月23日10時02分頃、草津白根山（本白根山鏡池付近）で噴火が発生。東京工業大学の観測によれば、鏡池付近から1キロメートル以上飛散する噴石を確認。
- 1月23日09時59分から振幅の大きな火山性微動が継続し、約8分間継続した。24日以降、火山性地震は減少しているが、時々傾斜変動を伴う火山性微動を観測。
- 降灰の聞き取り調査の結果、本白根山から北東に約8kmの群馬県中之条町で降灰を確認。
- 産業技術総合研究所と防災科学技術研究所による噴出物の調査の結果、今回の噴火は水蒸気噴火である可能性が高いと考えられる。
- 1月28日、関東地方整備局の協力を得て東京工業大学と実施した上空からの観測では、鏡池北火砕丘の火口北側を通り東西約500mの範囲に分布する複数の火口を確認。各火口で噴気は確認されず、また、火口周辺に地熱域等は認められなかった。

【噴火警報（1月23日11時05分発表）】

- 噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げ。
- 対象市町村等
以下の市町村では、火口周辺で警戒が必要。
群馬県：嬭恋村、草津町

【噴火警報（1月23日11時50分発表）】

- 噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げ。
- 対象市町村等
以下の市町村では、火口周辺で警戒が必要。
群馬県：嬭恋村、草津町

○防災上の警戒事項等

本白根山鏡池付近から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が風に流されて降るおそれがあるため注意。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意。ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺のくぼ地や他に地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがあるため注意。

2. 被害の状況（消防庁情報：1月29日18:00現在）

(1) 人的・物的被害

①概要

草津国際スキー場において、噴石による被害発生及びロープウェイの停止に伴い81名が取り残されたもの（23日17時10分下山完了）

②人的被害

死者1名、重傷3名、軽傷8名

《死者の状況》

・ゲレンデで訓練中の40歳代の男性自衛隊員が噴石の直撃を受け、病院搬送後に死亡確認

③住家被害

被害情報なし

3. 避難の状況（消防庁情報：1月29日18:00現在）

・避難指示、避難勧告の発令なし

・避難所開設なし

※本白根山鏡池付近から概ね2キロメートルの範囲に住家なし

立入規制区域内の道路については、降雪等による冬季閉鎖実施中

4. その他の被害状況等

(1) ライフラインの状況

ア 電力（経済産業省情報：1月25日17:00現在）

○東京電力

・一般家庭の停電は発生していない。

※低圧電灯等の設備に関する停電は7件。

※停電箇所は避難区域となっており、復旧作業は火山活動が安全な状態となった後に実施する予定のため、現在、停電情報の対象外としている。

イ 水道（厚生労働省情報：1月29日17:00現在）

・厚生労働省から群馬県、福島県、茨城県、栃木県、長野県及び各県内の水道事業者等に対し、草津白根山の火山活動に関する注意喚起及び被害が発生した場合の円滑な連絡・対応を要請。(1/23)

・現時点で被害報告なし

ウ 通信関係（総務省情報：1月29日17:30現在）

	事業者(サービス名)	被害状況等
固定 (注1)	NTT 東日本	・被害なし。
	NTT 西日本	・被害なし。
	NTT コミュニケーションズ	・被害なし。
	KDDI	・被害なし。
	ソフトバンク	・被害なし。
携帯電話等 (注2)	NTT ドコモ	<ul style="list-style-type: none"> ・2局停波 (群馬県：2局) ※入山規制区域内の以下の一部でエリア支障があることを確認。 あがつまぐんくさつまち 吾妻郡草津町（白根火山ロープウェイ山頂付近及び湯釜付近） (通信環境確保のため自衛隊に衛星携帯電話7台、携帯電話16台、タブレット6台、マルチチャージャー2台を貸出し) ※役場エリアについてはサービス影響なし。
	KDDI (au)	<ul style="list-style-type: none"> ・2局停波 (群馬県：2局) ※入山規制区域内にある以下の一部のエリアを除き、エリア復旧したことを確認。 あがつまぐんくさつまち 吾妻郡草津町（白根火山ロープウェイ山頂付近含む） ※役場エリアについてはサービス影響なし。
	ソフトバンク	<ul style="list-style-type: none"> 【携帯電話】 ・1局停波 (群馬県：1局) ※入山規制区域内にある以下の一部のエリアで利用しづらいことを確認。 あがつまぐんくさつまち 吾妻郡草津町（白根火山ロープウェイ山頂駅付近） ※役場エリアについてはサービス影響なし。 【PHS】 ・被害なし。
	UQ コミュニケーションズ	・被害なし。
	ワイヤレスティップランニング	・被害なし。

○主な原因は停電及び伝送路断

(注1) 事業者が把握可能な範囲の情報を記載

(注2) 携帯電話等事業者が設置している基地局数は各社で異なり、停波中の基地局数は、サービス影響の規模を直接表すものではない

<防災行政無線>

○都道府県防災行政無線

被害なし

○市町村防災行政無線（同報系）

被害なし（草津町、嬭恋村）

(注) 自治体が把握可能な範囲の情報を記載

(2) 道路関係（国土交通省情報：1月29日16:00現在）

ア 補助国道

冬期事前通行規制：1区間（積雪）

・国道292号 平成29年11月15日～ L=23.1km

イ 都道府県道・政令市道

冬期事前通行規制：1区間（積雪）

・県道 牧千俣線 平成29年11月15日～ L=3.0km

(3) 医療関係（厚生労働省情報：1月29日17:00現在）

ア DMATの活動状況

1/28 10:30 群馬県災害対策本部設置

11:10 群馬県DMAT調整本部設置

11:36 EMISを災害モードへ変更

21:37 群馬県DMAT調整本部を終了

22:00 EMISの災害モードを解除

1/29 9:00 群馬県災害対策本部を終了し、群馬県警戒本部へ移行

- ・DMATは1月23日19:40活動終了。（最大計20隊移動及び活動）
DMATの参集拠点および活動拠点は西吾妻福祉病院。
- ・ドクターヘリは近隣からの応援を含めて計2機活動（群馬、栃木）。
群馬ドクターヘリは前橋赤十字病院へ、栃木ドクターヘリは群馬大学医学部附属病院へ患者搬送。
- ・現時点で、1名の死亡患者と軽症5名の帰宅者以外の患者6名は以下の病院へ搬送。
原町赤十字病院、高崎総合医療センター、済生会前橋病院、前橋赤十字病院、群馬大学医学部附属病院、浅間総合病院

(4) 社会福祉施設等関係（厚生労働省情報：1月29日17:00現在）

ア 高齢者関係施設の被害状況

現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

イ 障害児・者関係施設の被害状況

現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

ウ 児童関係施設等の被害状況

現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

(5) 放送関係（総務省情報：1月29日17:30現在）

- ・被害情報なし。

(6) 郵政関係（総務省情報：1月29日17:30現在）

- ・被害なし。

(7) 農林水産関係（農林水産省情報：1月29日17:00現在）

- ・現時点での報告無し

(8) 国立公園関係（環境省情報：1月29日18:00現在）

- ・万座自然保護官が、引き続き情報収集に努めている。
- ・長野自然環境事務所ホームページ

(<http://chubu.env.go.jp/nagano/emergency/2018/01/123.html>)に、噴火情報を掲載。

- ・付近の直轄施設は本白根線道路（歩道）のみであり、当該歩道は冬季閉鎖中。

5. 政府の主な対応

(1) 官邸の対応

- ・ 1月23日 11:41 官房長官指示
被害者の捜索と救出作業を早く行うこと。
- 11:50 情報連絡室設置
- 12:05 官邸連絡室改組

(2) 関係省庁災害対策会議等の実施

- ・ 1月23日 14:00 関係省庁災害対策会議

6. 各府省庁の主な対応

(1) 内閣府の対応

- ・ 内閣府情報連絡室設置（1月23日 11:05）
- ・ 内閣府情報対策室設置（1月23日 11:50）
- ・ 内閣府防災ツイッター等により、国民への注意喚起を実施（1月23日）
- ・ 地元防災関係機関による草津白根山火山防災協議会分科会に職員を派遣（1月24日）

(2) 警察庁の対応

- ・ 警察庁及び関係県警察では、関連情報の収集等を実施中
- ・ 警察庁は、災害対策室長を長とする災害情報連絡室を設置（1/23 11:50）
- ・ 警察庁は、警備課長を長とする災害警備連絡室に改組（1/23 12:05）
- ・ 埼玉県警ヘリが11時15分にフライト。ヘリテレ映像を警察庁、官邸に配信（1/23 11:31～12:22）
- ・ 群馬県警では、本部長を長とする災害警備本部を設置（1/23）
- ・ 群馬県警管区機動隊20人、県機15人の計35人が現場臨場（1/23）
- ・ 現場では、群馬県警管轄署員（警備課長以下17人）が活動（1/23）
- ・ 群馬県警では機動通信隊モバイル班がモバイル映像を警察庁、官邸に配信（1/23 12:43～18:00）
- ・ 埼玉県警ヘリが14時09分にフライト。ヘリテレ映像を警察庁、官邸に配信（1/23）
- ・ 山麓駅に現地指揮所（県警本部危機管理室長以下）を設置。山頂の滞留者については、スノーモービル5台及び圧雪車4台を活用し、17時10分、下山完了（距離約2.3km、1回の搬送人員18人前後）（1/23 14:50開始）
- ・ 群馬県警47人（機動隊10人、管区機動隊25人、署員等）が、専門家による再噴火可能性に関する判断後、消防等と合同で草津国際スキー場本白根ゲレンデ清水沢コースの捜索を実施。火山性微動が多発したため、午前中に撤収（1/24）
- ・ 群馬県機動警察通信隊モバイル班は、モバイル映像を警察庁、官邸に配信（1/24）
- ・ 群馬県機動警察通信隊モバイル班は、モバイル映像を警察庁に配信（1/25）
- ・ 神奈川県警ヘリが9時05分にフライト。悪天候（降雪）のため、群馬県警ヘリポートで待機（1/24）
- ・ 警察庁ヘリが10時00分にフライト。悪天候（降雪）のため、群馬県警ヘリポートで待機（1/25）

- ・群馬県警 29 人（機動隊 10 人、管区機動隊 12 人、署員等）が、専門家等を含めた調整会議で再噴火可能性に関する判断後、消防等と合同で草津国際スキー場本白根ゲレンデ清水沢コース等の搜索を実施。搜索予定区域の搜索を終了（1/25）
- ・群馬県警 18 人（機動隊 5 人、管区機動隊 7 人、署員 6 人）が専門家による再噴火可能性に関する判断後、遺留品の回収、半径 2 km 圏内の警戒活動を実施（1/26）
- ・群馬県警 6 人（機動隊・管区機動隊 5 人、署員 1 人）が半径 2 km 圏内の警戒活動を実施（1/27～継続中）
- ・群馬県警は、警備部長を長とする災害対策室に改組（1/29）

(3) 消防庁の対応

- 1 月 23 日 10 時 30 分 応急対策室長を長とする消防庁災害対策室を設置（第 1 次応急体制）
- 1 4 時 00 分 関係省庁災害対策会議に防災課長が出席

○消防機関等の活動状況

①地元消防機関の活動

- 1 月 23 日 10 時 06 分 吾妻広域町村圏振興整備組合消防本部覚知
→ 12 隊 58 名出動
（指揮隊 1 隊 2 名、ポンプ隊 4 隊 15 名、救急隊 7 隊 21 名、他車両 7 台 20 名）
負傷者の救護及び取り残された人の搜索、救出活動を実施
- 1 7 時 10 分 救出完了
- 1 月 24 日 9 時 00 分 取り残された人の有無を再確認するため、関係機関合同で搜索活動を実施
→ 吾妻広域消防 19 名体制
- 1 2 時 39 分 火山性微動多発により、搜索活動を中止
（25 日に搜索活動を再開予定）
- 1 月 25 日 11 時 24 分 関係機関合同で搜索活動を再開
→ 吾妻広域消防 12 名体制
- 1 7 時 05 分 活動終了（26 日の活動については未定）

②県内消防応援の活動

- 1 月 23 日 11 時 10 分 県内消防応援の出動決定（県内 10 消防本部）
→ 21 隊 63 名出動
（指揮隊 2 隊 6 名、救助隊 2 隊 10 名、救急隊 11 隊 33 名、特殊災害隊 2 隊 5 名、後方支援隊 4 隊 9 名）
負傷者の救護及び取り残された人の搜索、救出活動を実施
- 1 7 時 10 分 救出完了

18時33分 活動終了

③相互応援の活動

1月23日 10時35分 埼玉県消防防災航空隊の出動要請
11時40分 上空からの情報収集活動等を実施
12時33分 気象悪化のため現場離脱、活動終了

(4) 防衛省の対応

①被害情報

現時点で、災害派遣要請なし。

(参考) 平成30年1月23日(火) 1051~1815 群馬県知事より災害派遣要請があり、災害派遣を実施。

活動規模 人員 約280名
車両 約75両
航空機 9機
その他 LO人員8名、LO車両4両

②部隊等の態勢

現時点で、態勢等を強化している部隊はなし。

③リエゾンの派遣状況

現時点で、なし。

(5) 文部科学省の対応

- ・文部科学省災害情報連絡室(室長:施設企画課長)を設置。(1月23日)
- ・群馬県、長野県教育委員会に対し、児童生徒等の安全確保と文教施設の被害情報の把握、二次災害防止を要請。(1月23日12時24分)
- ・平成30年草津白根山の噴火に係る関係省庁災害対策会議に防災推進室担当官が出席。(1月23日)

<国立研究開発法人 防災科学技術研究所>

- ・火山観測網(V-net、3地点)により観測し、リアルタイムで観測データを気象庁へ提供。
- ・災害対策チームを設置。(1月23日12時00分)
- ・以下の調査に研究者を派遣。
 - －草津白根山の噴出物調査(2名:1月23日~24日)
 - －草津白根山の噴火に伴う雪崩調査(2名:1月23日~24日)
- ・災害関連情報を集約したクライシスレスポンスサイトを開設。
 - －「災害情報集約報(第1報)」を掲載(1月23日14時00分)
 - －「災害情報集約報(第2報)」を掲載(1月23日20時03分)
 - －「災害情報集約報(第3報)」を掲載(1月24日10時50分)
 - －「草津白根山2018年1月23日降灰調査報告(速報)」を掲載(1月24日13時00分(1月25日10時40分更新))

－「2018年1月23日の草津白根山噴出物構成粒子の特徴」を掲載（1月24日19時02分）

<国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構>

- ・気象庁など関係機関から構成される火山WGからの緊急観測要請を受け、「だいち2号」（ALOS-2）による緊急観測を23日（火）23時31分、24日（水）23時51分に実施。

(6) 厚生労働省の対応

- ・厚生労働省災害情報連絡室設置（1月23日11:50）

(7) 農林水産省の対応

ア 職員の派遣

- ①関東森林管理局及び吾妻森林管理署から計画保全部長ほか6名を現地スキー場の救出活動拠点地に派遣（平成30年1月23日）

イ 対策本部・各種会議の開催等

- ①関東森林管理局に災害対策本部を設置し会議を開催（計4回）（平成30年1月23日（2回）、24日（2回））
- ②「平成30年草津白根山の噴火に係る関係省庁災害対策会議」に大臣官房及び林野庁の職員が出席（平成30年1月23日）

(8) 国土交通省の対応

- ・国土交通省として、引き続き被害の情報の収集・把握に努める。
- ・国土交通省災害連絡調整会議を開催（1/23）。
- ・関東地方整備局において、監視カメラを2台設置（1/23）し、監視カメラ1台追加設置予定（1/30）。
- ・防災ヘリコプター（1/23～24、28）、ドローン（1/28）により草津白根山周辺の現地調査を実施。

○リエゾン（情報連絡員）派遣【のべ16人・日派遣（1/23～）】

- ・関東地方整備局より、群馬県庁、草津町、嬭恋村へ、のべ16人派遣（1/23～）。

○OTEC-FORCE等の派遣【のべ23人・日派遣（1/23～）】

- ・関東地方整備局、国土地理院 のべ23人・日派遣（1/23～）

○災害対策用機械等出動状況【のべ28台・日派遣（1/23～）】（1/29 5台派遣）

- ・関東地整より、衛星通信車1台、Ku-SAT2基 計3台派遣中。

<国土技術政策総合研究所および土木研究所の対応>

- ・国土技術政策総合研究所及び土木研究所より、土砂災害分野の専門家を1名ずつ派遣（1/24）

(9) 国土地理院の対応

- ・火山災害対策用図等を関係機関へ提供及び公開（1/23）
- ・火山災害対策用図（鏡池周辺）等を公開（1/26）
- ・だいち2号のSAR強度画像に基づく推定火口位置を公開（1/26）
- ・だいち2号のSAR強度画像及びこれに基づく推定火口位置を公開（1/27）
- ・航空機SAR画像を関係機関へ提供及び公開（1/27）

(10) 環境省の対応

- ・関東及び中部地方環境事務所において、災害廃棄物の発生状況について地方自治体へ確認中。

(11) 気象庁の対応

- ・噴火警報発表（噴火警戒レベル2（火口周辺規制）に引き上げ）（1月23日11時05分）
- ・噴火警報発表（噴火警戒レベル3（入山規制）に引き上げ）（1月23日11時50分）
- ・降灰予報（定時）を13時、14時に発表。以降、3時間ごとに発表。
- ・気象庁本庁記者会見（1月23日13時00分、1月26日14時00分）
- ・火山活動解説資料発表（1月23日13時00分、18時00分、1月24日16時45分、1月28日15時00分）
- ・火山の状況に関する解説情報発表（1月23日16時40分、1月24日10時00分、12時05分、16時00分、1月25日10時00分、16時00分、1月26日10時00分、14時00分、16時20分、1月27日10時00分、16時00分、1月28日10時00分、13時40分、16時00分、1月29日10時00分、16時00分）
- ・1月23日から気象庁職員を現地に派遣。付近の降灰等の調査（1月23～24日）、ヘリでの状況調査（関東地方整備局の協力による。1月23日）、安全に捜索活動が行えるよう、現地に派遣した職員が火山活動を監視（1月23日～）を実施。また、1月24日には臨時の監視カメラ、1月25日には臨時の地震計・空振計を設置。
- ・1月24日から草津町役場に気象庁職員を派遣し、火山活動状況等を解説。（のべ16人・日派遣）
- ・1月24日、草津町で開催された草津白根山火山防災協議会分科会に出席。
- ・1月26日、火山噴火予知連絡会拡大幹事会を開催し、草津白根山の火山活動について見解をとりまとめ。
- ・1月28日、ヘリでの状況調査（関東地方整備局の協力による）を実施。
- ・引き続き嚴重な観測・監視、正確かつ迅速な情報提供を行い、火山の専門家や地元自治体との連携を密にして、対応に努める。

7. 都道府県の災害対策本部等の設置（消防庁情報：1月29日18:00現在）

【群馬県】1月23日 10時30分 災害対策本部設置

→1月29日 9時00分 廃止（災害警戒本部に移行）